

2021年診断症例：発見経緯別年代別がん登録数割合

発見経緯とは、がんが診断される発端となった状況を把握するための項目

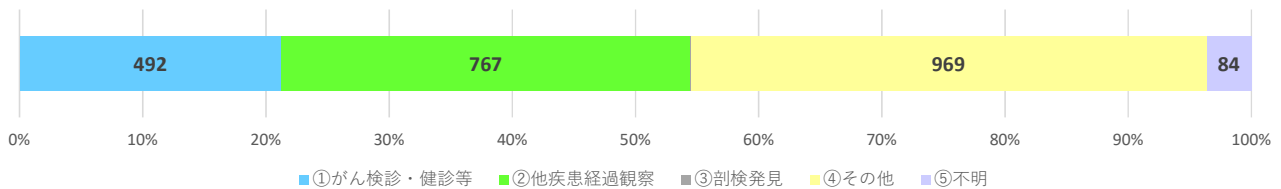
「がん検診・健診等」→市町村が行う「がん検診」や老人健康診断や健康診断、人間ドックの結果により当院を受診した場合

「他疾患経過観察中」→当院や他施設を問わず、他の疾患で経過観察中に行われた検査等により偶然発見されたもの

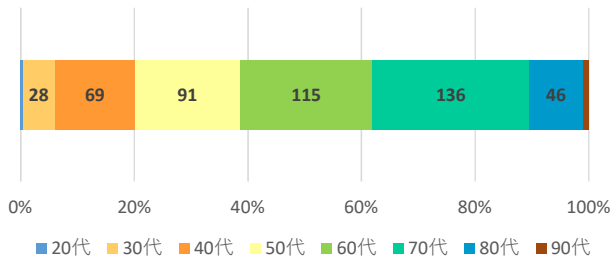
「その他（症状受診を含む）」→自覚症状があり当院を受診した等、上記にあてはまらない場合

「不明」→発見にいたる発端が不明な場合

2021年診断症例：発見経緯別年代別がん登録数割合

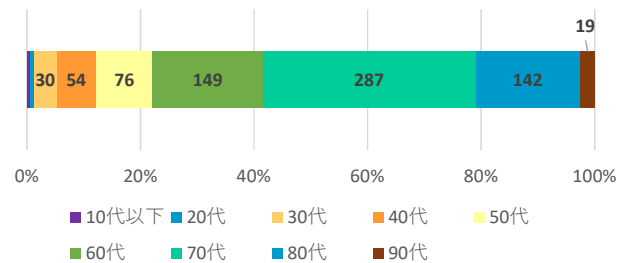


①がん検診・健診等で発見された年代別がん登録割合



①がん検診・健診等で発見された年代別がん登録割合は、40歳代までは20%を占めており、各年代とも比較的に一定割合の患者数となっている

②他疾患経過観察中に発見された年代別がん登録割合



②他疾患経過観察中に発見された年代別がん登録割合は、若年層は少なく、50歳代以上が88%を占めている